



合格体験記（2015年入試）

名古屋大学 工学部 電気電子・情報工学科 合格 F. Kさん

ここでは、受験勉強にあたって、私が利用して皆さんにおすすめできる、「勉強部」、「英語多読」、「受験サプリ」について書きたいと思います。

「勉強部」は毎日授業前と授業後に自習するというものです。私は家では集中して勉強できていなかったのですが、この勉強部に参加し、授業のある平日でも毎日最低限の勉強時間を確保できました。最初は授業後の方にしか参加していなかったのですが、先生にすすめられて授業前にも参加するようになりました。朝早く起きるのは苦痛でしたが、結局は最後まで続け、合計すればかなりの勉強時間になりました。今年の新三年生用の勉強部もすでに始動しているようなので、皆さんもぜひ参加してください。

「英語多読」は、一年生の授業の時と同様、英語の本を読むということです。多読の授業は一年生で終わりますが、セミナー室の本は借りることができるので、ぜひたくさん読んでください。英語の勉強としてはこれが一番実力がつくと思います。よく現代文を得意にするためには、本や新聞を読めと言われていますが、それに似たやり方だと思います。本の内容は受験の長文とは全然違ったものが多いですが、あまりそれは気にせず読んでください。私も一・二年のころは受験勉強のためというよりただ楽しいからというだけの理由で多読を続けていましたが、だんだん模試の英語で点が取れるようになり、効果を実感しました。多読用の英語の本がある学校は珍しいので、緑高校生なら多読をやらないと損しますよ。

「受験サプリ」は、インターネットで授業の動画を視聴する、ちょっとした塾みたいなものです。何より、毎月約1000円でいくらでも授業を受けられるので手軽で便利です。苦手分野だけ利用したり、演習問題を解いたり、それぞれ自分が必要なときに必要なところだけ使えばいいのですが、逆に言えばどの授業が本当に必要なのか見極めて使わなければいけません。

残された時間の中で本番で最大限に点数が取れるよう、受験勉強を頑張ってください。

名古屋大学 工学部環境土木・建築学科 合格 T. Nさん

僕が高校の3年間でやってきたことは、あまり思い出せないくらいに地味で、特に珍しいことはしてこなかったように思います。普通に毎日その学年ごとにふさわしい時間(3年生は平日5時間、休日8時間)の自宅学習をして、普通の教材で勉強をしていました。普通の教材とは、黄色チャートなどの学校でもらう問題集のことです。塾には通っていましたが、普通の教材を何度も復習することが、結局のところ、一番力のつくやり方だったように思います。睡眠時間は普通に夜7時間とっていたので、僕はいわゆる受験勉強の夜食を食べたことがなく、親も作りませんでした。夜7時間の睡眠をとることは絶対に必要です。夜眠らないでいては、何も覚えられません。寝てください。(夜に)そうすると、朝型の勉強をしなければならなくなるのですが、それには朝の勉強部に通うことで実現することができました。勉強部はとても役に立ちます。毎日、目標の時間だけ学習するのは、インターネットなどの誘惑があるととても難しいですが、勉強部においては勉強せざるを得ない空間が実現します。

各教科の学習のポイントは、数学は「多くの問題を解くこと」「同じ問題を何度も復習すること」理科は「教科書を理解するまで読むこと」英語は「英文に読み慣れること」「単語を覚えること」です。ここで余談ですが、受験にはあまり役に立ちそうにない雑学でも、英語の長文やリスニングでそのテーマが出題されたことがあって役に立ちました。日常生活の中でいろんなことに興味を持って過ごしたほうがいいと思います。

受験する大学を選ぶことについてわかったことは、第二志望以下の大学は単に滑り止めの為に受けるのではないということです。例えば、国立大学を第一志望として滑り止めの為にセンター利用方式の私立大学を受けると、合否判定に使われる教科の数が多くあります。発表日が早い大学ならば自分のセンター試験の得点の見当をつけ、

国立大学の二次試験にのぞむことができます。ですから、そういったこともよく考慮した上で受験する大学を選択することをお勧めします。受験勉強の期間においては、自分は周りの環境に恵まれていたと思います。家族は多くの協力をしてくれました。また、クラスには尊敬できる友人、しばしば励ましてくれる友人、楽しく本気で競えあえる友人がいました。そのおかげで楽しく勉強をすることができたし、ここまでやってこれたのだと思います。以上が、自分がやってきたこと、思ったことで、話せることのほとんどです

名古屋大学 経済学部 合格 I. Uさん

「緑高校から名古屋大学へ」というと皆さんはきっと、「どうせ3年間ガリガリ勉強したんでしょ。」と思うのではないのでしょうか。しかし、僕が勉強を本格的に始めたのは高校2年の12月になってからです。それまでの僕は勉強など定期テスト1週間前のみ。長期休暇の宿題は溜めて溜めて最後に一気にやるという感じで、宿題以外の勉強などしたことはありません。ここに書いてよいのか分かりませんが、授業中に携帯をいじることや居眠りすることも多々ありました。しかし、受かっています。言いたいことは、1年間たっぷりあるのだから、なるべく高い目標を設定して最大限がんばってみてくださいということです。

では、何をどうすればいいのかということになりますが、そんなことは千差万別、各々違います。「あの先輩はあの参考書をやっていて〇〇大に受かったから僕もそれをやれば大丈夫だ。」などと思っははいけません。必勝法などなく、自分の実力と志望校のレベルを見つめ、自身で考えてやっていくしかありません。そうは言えども、やるべきことを考える上でのヒントが必要になります。その時は、友達や先輩、先生、塾講師に聞くもよし、ネットで調べるもよしです。積極的に質問、検索しましょう。しかし、それらのアドバイスは“絶対”に鵜呑みにしてはいけません。必要不必要を必ず自分の頭で考えて取捨選択してください。

勉強についてですが、3年の9~11月まではとにかく焦らず基礎を固めれば良いです。センター試験で使う科目は10~11月までに、2次試験で使う科目は9~10月までにそれぞれの試験対策に移行できるようにしっかり基礎を固めておけば良いでしょう。勉強初めの段階でセンター試験や志望大学の過去問を解いても満足に解けるはずがありませんが、最終目標を確認するという意味で、参考書選び等をはじめのまに一度見ておくといいでしょう。難しいと思っても諦めないでください。僕も3年の5月に名古屋大学の過去問を見たときには、さっぱり分かりませんでした。勝負は最後まで分かりません。また、センター試験の公民系の使用科目は模試等を活用して決めてください。比較的点数のとりやすい倫理や現代社会といった科目が緑高校では等閑にされがちですが、とても勿体無いです。マーク模試の際に問題は貰えるのでそれぞれ解いてみると良いです。思わぬ点数を取れることもありますので。基礎を固める際ですが、基本的には学校で配布される教科書や文法書を何周も読み、問題集を何周もやれば良いでしょう。先生方が考え抜いて選ばれているテキストなのでそれなりに信頼ができます。自分に合っていない!とか、他人とは違うことがやりたい!という方は書店へ行きましょう。書店には様々な参考書がおいてありますが、ネットで調べれば評価が多数出てきますので、評判を調べて、自分の目で見て選びましょう。

また、勉強をしていて分からないことがあればどんどん学校の先生に質問しましょう。本当に素晴らしい先生も多数いらっしゃるの、探しましょう。良い指導者に出会えることも合格への秘訣だと思います。

高校3年間で学んだことは受験で生きるだけでなく、様々な物事を考える上で基礎となり、財産になると思います。将来へ向けて、勉強も含めた高校生活を楽しんでください。とは言え大学進学が全てではありませんし、広い視野をもって取り組めると良いですね。

以下に僕が使った役立ったと思う参考書のみ並べます。ネット検索や書店に出向いて一度ご覧になってください。

国語：読み解き古文単語、得点奪取【現代文】

英語：Vintage、速読英単語、英文解釈の技術100、解体英熟語、やっておきたい英語文法500、700、1000

数学：フォーカスゴールド

社会：～の点数が面白いほど取れるシリーズ

全教科共通：赤本や黒本といった過去問

愛知教育大学 教育学部 初等国語 合格 I. H さん

「愛教大落ちたら、浪人します。」

12月に返ってきた模試の結果は、ボーダーギリギリのC判定。塾にも行かず、一人で勉強していた私がした選択は、滑り止め無し。元々運動部でしたので、そこまで積み重ねがあるわけではない。センター試験でミスしたら合格なんてできないだろうということは分かっていました。それでも私は、最後まで諦めなければ何かが起こるという担任の先生の言葉を信じたかったのです。

センター試験が終わり、自己採点をしてみると結果はボロボロ。ボーダーに届いていない。心底落胆しましたが、愛教大合格以外考えず、授業が終わっても残って勉強しました。そして、ご存知の通り合格したのです。

さて、それでは私が合格するために取り組んだことを書いておきます。まず、定期テストでは絶対手を抜かず、常に1位を取りに行く。そのためには授業を真剣に受けてください。当たり前のことですが、私は三年間過ごす中で、この程度もできない人が多いと感じました。部活だけ真剣にやっただけ人間性は伸びません。どんなことに対しても積極的に取り組むことで理不尽なことに対しても屈しない強い精神が培われ、努力できるようになると私は思います。勝手に自分の限界を決めて努力することをやめたり、考え無しでとりあえず大学行けばいいやとか考えたりすることは、結果的に自分のためになりませんから、常に前を向いて色々なことに挑戦してみてください。

次に、休憩をしっかり取ること。その際には、自分を甘やかさず、勉強で疲れた体と心をほぐすくらいが丁度いいでしょう。10分ランニングするだけでもかなり良い気分転換になりますから。最後に、先生や先輩に頼ること。志望校の対策に適した参考書を持っていたり、知っていたりすることがあります。指導もしてくれるでしょう。

以上三点を頭に入れて悔いの無い高校生活を送るとともに、第一志望に合格していただきたい。私が知っている緑高校の生徒は、やらないだけで皆やればできる人たちですから。私のようにニコニコしながら三年生の春休みを過ごす人が増えることを私は願っています。

愛知教育大学 教育学部 中等数学 合格 T. O さん

3年生になってから自分の行きたい学部—教育学部—がはっきりとし、偏差値が少し高めの愛知教育大学（以下愛教）を目標とし受験勉強をし始めましたが、当時は何をすればよいかさっぱりわからず、それまで通りの定期テスト対策しかせずそのまま夏休みに入りました。

夏休みに入ったときに勉強することが面倒臭くなって私立大学の指定校推薦を受験しようと思い、夏休み中は全く勉強せずにだらだらと過ごしてしまいました。そして夏休みが明け新学期が始まり、担任に指定校推薦の用紙をもらいに行ったところ、愛教を受験することをすごく説得され、指定校推薦はもらえませんでした。その時は、なんだよー、などと思っていましたが今思うとこれで本当によかったと思います。「夏休みに勉強していない」ということである意味追い詰められ、10月には塾にも入って毎日自習室でとにかく勉強！という思いで愛教に受かるためセンター試験の対策をしていきました。

模試の判定も初めはE判定でしたが回数を重ねるごとに徐々に良くなり、センター直前のプレテストではA判定でそのままこの勢いでセンターもいけたかったので、冬休みは毎朝8時から塾へ行って勉強しました。その成果か、センター試験本番では普段の練習より100点以上高い点数（5科目900点）をとることができました。これ

によってそれまで以上にやる気がおこり、2次試験までも気を抜かずに勉強した結果、2次試験もほとんどミスすることなく念願の愛教に合格することができました。

僕がアドバイスしたいことは、「やるならとことんやれ」です。勉強をしたくないという人は無理にしなくてもよいと思います。後に行ける大学がないなどという理由で辛い思いをするだけです。しかし行きたい大学・学部がある人はぜひ少しずつからでもいいので勉強する習慣をつけてください。初めのうちは辛く思えるかもしれませんが勉強するということが次第に慣れていき、苦でなくなる時が来ます。そうしたらもうそのまま試験の日まで勉強し続けるのみです。とは言え、勉強ばかりしては身体も心も疲れてしまうのでたまには息抜きもしましょう。1.2年生はもちろん定期テストの対策を重点的にしましょう。内申は大事です。

最後になりますが、皆さん誰しものがやればできる子です。ただ緑高校の生徒はやらない人が多いと感じます。だから勇気を出して第一歩を踏み出しましょう。また、やってるけどいい成績を取れないという人はやり方が自分に合っていない、もしくは間違ったやり方をしているのかもしれませんが。頼れる先生や先輩、友達に相談しましょう。勉強方法が全くわからないという人も尋ねてみるとよいかもかもしれません。

がんばってもがんばらなくても成果は現実的な形となって自分に返ってきます。その成果が満足できるものになるよう努力しましょう。

信州大学 医学部 保健・検査技術科学科 合格 K. Oさん

この合格体験記では、受験生として過ごした時のことを通して感じたことを書いていこうと思うので、これから大学受験を経験する人たちの参考になれば嬉しいです。まず、振り返って一番大事だと思うことは、早く志望校を決めて、勉強の計画を立てることです。特に国公立大学を志望する人は科目数が多いのでより大事です。きちんと計画を立てることで、その日に何をやるべきなのかははっきりとし、効率よく勉強を進めることができます。また、夏休みもしっかり計画を立てないと、せつかくの長期の休みが無駄になります。

次に模試についてですが、受験本番までにたくさんの模試を受けます。ここで大事なことは、模試のやり直しです。受けた翌日には問題を解き直し、間違えた問題の原因をはっきりさせて、次の勉強につなげてほしいです。また模試の判定は気にはなるところですが、いちいち気にしても意味がありません。A判定だから絶対に合格する、E判定だから絶対に合格しないということではないので、気にしなくていいです。最後に、全体を通して大事だと思うことは、諦めないで最後までやり続けることです。辛くて勉強したくないと思っても、耐えて志望校に合格して喜ぶ自分の姿を夢見て頑張ってください。

鹿児島大学 水産学部 水産学科 合格 H. Nさん

僕が大学へ進学しようと考え始めたのは、高校1年生の夏休みのときでした。そして、夏休みを使って興味ある学部や将来やりたいことなどを参考にして、具体的に複数行きたい大学を探し、必要な教科を調べました。本格的に大学受験に向けて勉強し始めたのは、2年生の3学期ぐらいからでした。最初のうちは難しい問題をあまり解かずに、これまでの基礎的なことを覚え直すぐらいの難易度の問題に取り組みました。受験勉強なんてまだ早いという人もいましたが、自分的には2年生の頃に復習は終わらせておいた方が無難だと思いました。

3年生の夏休みまでには、それまでの模試の結果から自分の苦手な教科や範囲を中心に夏休みの予定を立て、センター試験のための勉強も始めました。特に数学は時間との勝負なので、ひたすら予想問題集などのマーク式を制限時間の60分ではなく、見直しなどの時間を作るために50分に縮めて取り組みました。誘導にうまく乗れないと苦しいので、慣れるためにも多くの問題を解きました。また、各教科の目標点を決めました。このことは後になって考えると、よりモチベーションを上げるために意外と重要なことだったと思います。

試験が近くなってきたら正しいことなのかは分かりませんが、とにかく自分に自信を持つようにしました。本番

が近づいてくるにつれて、しだいに不安や緊張をもつようになりましたが、自分のやっていることに自信をもつことで、なんとか乗り切ることができました。ただ、自分に自信をもつことは簡単なことではないような気がします。自信をもつためには、それ相応の努力や根気が必要で、決して模試などの結果が思わしくなかったとしてもそこで諦めずに努力した分、最後には自信となって必ず返ってくると思います。本当に行きたい大学がある人は苦しいときも多々あると思いますが、最後までまわりに流されずに自分の意志で諦めずに取り組んでほしいです。

山口大学 工学部 機会工学科 合格 T. Oさん

僕からは大学の選び方についてアドバイスしたいと思います。

皆さん、志望校は決まっていますでしょうか。決まっているという方は、なぜその大学を選んだのでしょうか。

「この学部を出てこういう仕事に就きたい」、「有名だから」、「〇〇県に行きたい」、「近いところの中で受かりそうなところがそこだから」など、様々な理由があるでしょうね。

では、もう一つ質問しますが、あなたは、どの程度大学を探してからその大学を志望校に決めたのでしょうか。たった数校だけを見て決めたりしていないのでしょうか。

大学の数は大変多いです。あなたが学びたいことを学べる大学、あなたの希望する職業に就くのに有利な大学も数多くあります。あなたは果たしてそれを見つけることができているのでしょうか。

大学に入るために試験という方式がとられている以上、どうしても「試験に合格する」ということに重点を置いてしまいがちですが、それ以前に、「自分に合った大学を見つける」ということも非常に重要です。それにもかかわらず、この大学を「見つける」という段階でやり方を間違えている人が多くいるように思います。

そういう自分も最初は県内の大学だけを志望していたのですが、センター試験後に結局県外の大学に志望を変えることになり、二次試験前になって大学調べをするという事態になってしまいました。皆さんにはこうならないよう、しっかりと大学を調べて、自分に合った大学を探し出してほしいと思います。

「大学に入ったら終わり」ではありません。むしろ入ってからが本番です。充実した大学生活を送るための最大のカギは、自分に合った大学を「見つける」ことです。是非資料やインターネットで大学を探してみてください。思わぬところにあなたにピッタリの大学があるかもしれませんよ。

名古屋市立大学 看護学部 看護学科 合格 M. Kさん

私は名古屋市立大学にセンター利用の推薦Bで合格しましたので、センター試験に向けての勉強のを中心にお話ししていきます。1.2年の人は、「受験勉強の話は早いのではないか」と思われるかもしれませんが、決してそんなことはありません。皆さんは定期考査をどのような勉強をして乗り越えていますか。私が緑高校で3年間過ごし感じたことは、一夜漬けなどの定期考査を乗り越える為の勉強をしている人が多かったという事です。私は受験を意識し、基礎学力の定着の為に定期考査を利用していました。特にセンター試験の場合は、基礎の定着が高得点の鍵となります。こうした定期考査に対しての意識の違いを認識し、是非とも活用してみてください。

具体的な受験に向けての勉強は、高2の3学期からセンター試験を視野に入れた勉強をしました。ただ、11月までは全科目を記述中心で勉強することをお勧めします。センター試験における英数国の3教科の勉強のアドバイスとしては、英語は、まず単語を覚えましょう。私が使っていた単語帳はターゲットでしたが、ターゲットならば少なくとも1000までの単語はすぐに意味が分かるようにし、センター試験の問いに使われる頻出単語と熟語は、必ず覚えてください。数学は、問いを見たときにパターンを思い浮かべることが大切です。定期考査の時に問題を見て解法をすぐに思い浮かべない経験はありませんか。1回解いただけではなかなか身に付いていません。パターンが身に付くまで解いてください。国語は問題に慣れることが必要です。現代文は、逆接などの接続

詞や対比関係がポイントです。古典は、まず古典文法を完璧にしてください。そして、学校で購入する古典単語帳は、全て覚えることが最低条件です。以上、かなり基本的なアドバイスばかりでしたが、参考になれば幸いです。

また、ただ漠然と勉強するだけではなく、皆さんには高い目標を持ち続けてもらいたいです。私自身緑高校に入学してから、一貫として第一志望を名古屋市立大学としていました。学力的には受験できるような大学ではありませんでしたが、合格に向けて努力をし続けました。センター試験直前の模試でもあまり思わしくない結果でしたが、最後の最後まで諦めずに頑張って本番のセンター試験で自己最高得点を取り、推薦Bで合格を決めることが出来ました。秋に専門学校や私立大の推薦という選択肢もあり、妥協をしないで第一志望を目標にしたことは大きな不安で、周りの友達が次々と合格を決める中、まだ自分の進路が決まっていなことに焦り、精神的にも辛いことはたくさんありました。しかし、今となっては大きな達成感に満ちています。皆さんには、決して最後まで妥協をしてほしくはありません。努力を費やした分だけその大学の価値はさらに上がり、何より自分の自信につながります。自身がどうしても進学したいという意気込みなら、是非努力を費やして受験してください。

緑高校は、先生方や環境に恵まれています。勉強する場を作ってくださったり、辛いときに相談の乗ってくださったりと、大変お世話になり、感謝をしています。私は緑高校生であったことを誇りに思います。きっと最後には後輩の皆さんもそう思うことでしょう。最後となりますが、どうか自分の夢に向かって頑張ってください。心から応援しています。

愛知県立大学 外国語学部 ヨーロッパ・ドイツ語学科 合格 N. Uさん

私が愛知県立大学を目指そうと思った理由は、自分の学力から考えてどこか目指せる大学…国公立とかないな、県内がいいな、などと色々考えた結果、県大に決定しました。それだけです。そこから県大にある学部を調べていき、外国語学部ヨーロッパ学科を発見し、「ドイツ！旅行で行きたいとこだ！！ここにしよう！」という感じで決定しました。本当はかなり適当です。私の場合は、普通の人とは志望校の決め方が違うと思います。将来の夢が何となくでも決まっている人は、自分の学びたい学部がある大学を選ぶことができますが、私のように将来の夢も特になく、趣味はあくまでも趣味。でも大学進学はしておきたい、と考えている人はかなり悩むと思います。そういった人は、一度こういう考え方もしてみてもいいでしょうか。全く興味のないところに行くのはやめておいた方がいいとは思いますが、家から通いやすい、ネームバリューがあるといったことから大学を決めるのも最悪よいのではないのでしょうか。将来、就職先で大学で学んだことを直接生かせることはないとしても、自分が少しでも興味を持ったものは学んでいて楽しいですし、将来の糧となるのではないかと思います。

次に入試についてですが、テスト内容についての情報収集は大事だと思いました。同じ入試と言えども、それぞれの学校に色々な形式があります。県大の場合、150words程度の英作文とリスニングの書き取りという点が、他大学で行っている推薦入試とは大きく異なりました。どちらも一朝一夕で身につくものではありません。事前に確認し、対策しておくことが大事です。私はこれを怠ったために入試当日は焦ったので、皆さんは私みたいにはならないようにお願いします。また、推薦を受ける際に学校の成績が大学の基準を上回ってなければなりません。成績の他に英検、TOEIC等も必要な場合があります。これは大学のHPで見ることができるので、こまめに気にしつつ勉強するのがいいと思います。しかし、一般入試前提で勉強することが大事ですので、勉強方法については他の方々の体験記をご参照いただければ幸いです。私は推薦ですので…。

夏休みが明けたころから、AO入試や公募推薦入試等でどんどん受験が終わった人が増えていきます。文系は特にそうだと思います。周りの人、クラスの人が終わっていくのって予想以上に辛いです。すごく取り残されている感じがしましたが、そういう時にまだ残っている友達がいるというのはすごく心の支えになり、もう少しだから頑張ろうと思えました。勉部は本当によかったです。受験が終わった友達も、自分が終わったからこそ心に余裕ができ、終わっていない人たちを応援してくれます。周りにそういう子がいたら声をかけてあげたりするだ

けでも嬉しいので、是非やってみてください。クラスの雰囲気、友達というのは思っていたより大切です。周りの人と支えあいながら、頑張ってください。応援しています。

愛知県立大学 情報科学部 情報科学科 合格 K. S さん

受験期間は、ほとんど遊ぶことができず、つまらないと思う日も多くなると思いますが、勉強を楽しむことができればそれ以上のことはないと思います。では、勉強を楽しいと思えるようにするにはどうすればいいのでしょうか。英語は簡単でした。基本的な文法と単語さえ覚えれば英語の本を読むことができるようになるからです。また、この基本的な文法と単語というのは英語の基礎になります。英語の本は読んでいて楽しいものですし、緑高校の多読の本ならばYL（読みやすさレベル）というものがあり自分が読める本を選ぶときの目安になり、そして何よりも自分の成長を実感することができます。基礎をつけた後はとにかく使うことが重要であるのでYLの低い本から高い本まで様々な本を読むことで勉強した単語、文法が使えるようになっていきます。わずか10分前に単語帳で見た単語がたまたま読んだ本に出てくるようなこともあるかと思います。また、単語の規則性や全く異なる意味を見つけることも楽しみの一つになる人も多いでしょう。たとえばある単語の前にinがつくとたいてい逆の意味になる(indifferentはdifferentの逆にならない)ことは単語帳を眺めているうちにすぐに気づくことだと思います。使えるようになること、気づくことが勉強の楽しみの一つになるのは間違いないといってもいいのではないかと思います。同じように考えると数学や物理の楽しみ方というのも見えてくるような気がします。他には、テレビを見ながら・音楽を聴きながら・誰かとしゃべりながら・ゲームをしながら、勉強をすることで楽しみを見いだせるかもしれません。その際は、なるべく自分の好きな番組・曲・ゲーム、しゃべるときは大人数のほうがいいと思います。その基準は、いかにそれが勉強の妨げになるかということです。勉強の妨げになることをあえてすることで、一回完全に解いてしまって自分の身にならないと思った問題や参考書の難易度を上げることができます。そして、その妨害を押し切って問題を解くことで大きな達成感を得ることができます。結果的に、自分のためになるようなことをし、工夫を重ねることが楽しみにつながってくると思います。それでは皆さん、良い受験ライフを送ってください。

早稲田大学 スポーツ科学 合格 S. S さん

有名大学、難関大学に合格するためには生まれつき頭が良くなければいけないとあなたは思いますか。僕はそう思いません。高校に入学して最初のスタディーサポートは360人中336位、高校三年生の4月と5月の模試での偏差値は40台半ば。英語に関しては40を切ることもあった僕でしたが偏差値60以上の大学に合格できました。だから、今勉強がなかなか上手いかずに悩んでいる人も自分が本当に行きたい大学を、難易度や今の学力と関係なしに第一志望にしてください。一年間本気で勉強すれば私立大学なら高い確率でよい結果が出ると思います。正直に言うと国公立は三年生になるまでに国語、数学、英語あたりがある程度受験に対応出来るレベルにないとなかなか厳しいと思います。国公立を目指すとなると教科数が多いので、時間が私立を目指す人より必要です。なので一、二年生の時にしっかり勉強していれば合格出来ると思いますが僕自身、国公立大学を目指していたわけではないので、早稲田大学に一年間でどう勉強して合格したのかを中心に書いていきます。まず第一志望の大学を決めましょう。目標がなければ普通は勉強は続きません。決まるきっかけは人それぞれだと思いますが、出来るだけ上の大学を選んで欲しいです。そうすることでモチベーションも高まると思います。次にやってほしいのは勉強の習慣を身につけることです。最初から一日中勉強できる人はいません。最初は15分だけでもいいので机に向かって勉強してみましょ。そして徐々に時間を伸ばして行きましょ。勉強をどれだけやったかは受験の時の自信に直結します。確かに効率の良い勉強が出来ればベストかもしれません。ただ、そんなに都合よく上手くは行きませんし、第一志望の大学で何度もチャンスがあるわけではありません。それならば自分

が勉強できる時間はすべて勉強する。それが一番いいと僕は思います。ここで注意して欲しいのは睡眠時間をしっかり取るということと、夜中に勉強するのは望ましくないということです。睡眠は記憶の定着を助けますし、夜中に勉強することは昼間にいいパフォーマンスを発揮することを阻害します。

次に勉強法について説明します。先ず現代文についてですが、現代文は勉強をあまりしなくていいと思っている人がいるかもしれませんが、勉強する必要性はかなりあります。漢字や語彙といった暗記系のものはもちろんですが、文章を論理的に読み解く訓練は特に重要です。これをやらないと安定して高得点を狙うことが出来ません。また、現代文は大学によって出題の仕方がかなり異なるので早めに過去問を一度でいいのでやってみると、その後本格的に過去問を解く際に楽に対応できます。古文は文法と単語を覚えて、あとはひたすら演習を積み重ねて古文になれるのが高得点への近道だと思います。次に英語ですが先ずは一ヶ月で必修単語と基礎的な文法をマスターしましょう。単語に関しては英語を見てすぐに日本語の意味がわかるように、文法に関しては英文の文構造が分かるように出来るレベルを目指しましょう。その後長文と受験レベルの文法に取り組みます。ここで大切なのは音読です。音読をすることで英文を英語のまま理解できるようになって行き英文を読むスピードが上がります。入試では英文を読むスピードが重要な要素となっています。

最後に細かいアドバイスを書いて行きます。受験生が一番伸びる時は問題演習をしている時だと思います。だから一年間の受験のスケジュールを作るときは、いつ過去問をやるかを軸に組み立てることをお勧めします。過去問はセンター、第一志望それぞれ最低十年分はやってほしいです。最初は苦しいと思いますが、やっていくにつれわかる問題が増えて行き、勉強が楽しいと思える時がきっと来ると思います。とにかく前向きに、第一志望に必ず合格すると信じてやって行く、それが合格への一番の近道です。自分の将来が勉強することで明るくなる人は必ず勉強したほうがいいです。これを読んだ人が第一志望に合格することを願っています。

南山大学 外国語学部 英米学科 合格 Y. K さん

僕は2年生のスタディサポートでは英語は学年最下位をとり、定期テストでは一桁の点数を何度もとるなど、緑高校の中でもかなり学力が低い方でした。しかし、塾には行かず南山大学の英米学科を含む5学科に合格することができました。

僕が受験で大切にしていたことをいくつか書きます。まずは無駄な時間をなくすことです。だらだらする時間をなくし、休み時間に単語をやりました。休憩を入れて平日なら9時間、土日なら16時間ほどは勉強の時間をとりました。最初はきついです。習慣にすれば案外やれます。休憩は90分に一度10分でかなり集中できるのでおすすめです。次に規則正しく勉強する習慣をつけることです。人によりますが、睡眠は6から9時間とりましょう。寝ることで集中力が増し、勉強したことが記憶に残りやすくなります。次に効率よく勉強することです。勉強法がわからない人は、参考書や先生のアドバイスを参考に自分にあった方法を見つけましょう。どうしたら効率がよくなるか考えながらやれば、日々の進歩が実感できると思います。考えずにやると、時間をかけて努力しても無駄になることもあるので注意してください。最後は継続することです。脳はどんどん忘れていくので、できれば一日に受験科目全てをやり、復習を繰り返しましょう。参考書は3周くらいしないと、頭がいい人以外はものにできません。

やる気が起こらないときもあると思いますが、そんなときこそ周りとの差をつけるチャンスだと思って頑張ってください。皆、だらけたくなるのは同じです。勉強を続けるのは大変ですが、これから就職するとき、転職するとき、一生ついてまわるものなので、夢が特になく人や、推薦でどこでもいいため決めて遊ぼうとしている人、成績が悪く諦めている人も、将来のために1年間頑張って推薦で行けるレベルより上を目指してほしいと思います。そのためにも後悔しないように、早めに勉強を始めるのがおすすめです。

皆さんが第一志望に合格することを願っています。頑張ってください。

南山大学 人文学部 人類文化学科 合格 M. Mさん

私は文系科目（国英社）を中心に受験勉強をしました。

まず英語に関しては、勉強は早めに始めた方がいいです。英語は一つの言語なので、何よりも積み重ねが物を言う科目だと思います。2年生で使用する Vintage は、ぜひ活用してください。語法や文法などは Vintage を繰り返し解けば身につくはずで、あとは長文を読み解くために単語をこつこつと覚えてください。おそらく、長文を読むのがかなり楽になります。私事ですが、自分はあまり英語の勉強をしてこなかったため、受験勉強前半で少し苦労しました。その失敗を踏まえ、みなさんには早めに取り組んでほしいです。

次に社会は、私は世界史を選択でしたが、他の社会科目でも毎日の授業を真面目に受けることが大切だと思います。授業中やテスト勉強で覚えたことをできるだけ覚えたままにしておけば、受験勉強の時にその知識の上に新しい知識を上書きすることができます。もちろん口で言うほど簡単なことではないですが、そこは各々工夫をして、できるだけ記憶を持続させることが一番効率のいい方法です。また、受験の時にはかなり細かい知識も要求されるので、資料集は普段から活用した方がいいです。できたら用語集も一冊あれば便利です。国語については、特に言えることがないので省かせていただきます。

学校の先生のアドバイスは、とても大事です。しっかりと聞いた方がいいことを実体験を踏まえてお伝えします。私は最初、南山大学を受験するつもりはありませんでした。担任の先生が「受けたらどうだ」と熱心に勧めてくださったので、受験に踏み切った次第です。すでにその時、他校の公募推薦に受かっていたこともあり、正直に言えば、「もう受験勉強をしたくない」と思っていたのですが、結果として受験して合格することができました。その時は、公募推薦の合格通知が来た時よりも嬉しかったです。その経験から、先生方のおっしゃることはしっかりと聞いた方がゆくゆくは自分のためになると思ったので、この場を借りてお伝えします。

それでは最後になりましたが、おそらく受験生というものは人生で一番、「勉強すること」を応援してもらえる時期です。誰も受験生の足を引っ張る人はいません。こんなに勉強できる機会はこれから先、ほとんどないでしょう。ですから、この機会に色々な知識を身につけてください。それはこの先、何かの助けになるかもしれません。そう思って、この先の受験生活を少しでも楽しめるといいと思います。